

2. 飛鳥宮跡の「価値」とは : 何を伝えるか

飛鳥宮跡の「価値」とは

- 飛鳥宮跡の本質的価値とは何か
- 飛鳥宮跡の、あの空間でなければ伝わらないものは何か

【参考】 第1回委員会の集約(委員意見)

- 飛鳥宮跡は、東アジア諸国との交流を背景に、日本列島における古代中央集権国家形成の歴史を体現する中核的遺跡である。
- 国の原型が形成される過程で「宮」が重層的に営まれた貴重な遺跡である。
- 飛鳥からはじまり、現代につながるものがある。
「天皇」、時間の概念、官位制度、戸籍制度、貨幣・・・
- 文献資料と遺跡・遺物の両面から律令国家の形成過程を確認できる。



◆日本書紀: 国立国会図書館デジタルコレクションより

【参考】 飛鳥関連の各種報告書等の記述

- ◆「世界遺産暫定一覧表記載資産候補提案書」(H10 奈良県他)
 - 日本の古代政治の中核
 - 律令国家の形成から確立までの過程を解明できる古代都市空間
 - 東アジア・東南アジアの諸外国との交流や技術の受容が認められる遺物
 - 国家儀礼・官僚・身分・税などの制度の完成、貨幣の鑄造開始
 - 古事記・日本書紀の編纂(開始)
 - 飛鳥文化に育まれた宮殿や庭園などが、地下に良好な遺構として存在
- ◆「明日香における歴史展示等のあり方基本方針」(H22.3 奈良県)
 - 日本の古代国家体制が形成された地域
 - 仏教などの大陸文化の影響を受け飛鳥文化が開花した地域
- ◆「飛鳥宮跡保存活用構想」(H26.3 明日香村)
 - 律令制による日本という統一国家が誕生した時期のシンボリック遺跡
- ◆「明日香村歴史文化基本構想」(H27.3 明日香村)
 - 日本国はじまりの地
 - 古代、飛鳥の地に営まれた宮都の繁栄を物語る遺跡群
 - それらを取り巻く各時代を通じた人々の活動が創り出してきた歴史文化



◆富本銭:「飛鳥の考古学図録①発掘された飛鳥」2010 より



◆水落遺跡



◆亀形石造物

3. 飛鳥宮跡の「活用」とは : どう伝えるか その1

飛鳥宮跡の価値を「どう」伝えるか

- 飛鳥宮跡の本質的価値を伝える最も効果的な手法はどのようなものか
- どのようなハード的手法が必要か、どのようなソフト的手法を重ねるか

